



知夫小中学校
 Tel 08514-8-2015
 Fax " 8-2312
 〒684-0100 知夫村 1053-1
 [HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

隠岐のおもしろさ発見 (新発見・再発見) (小学部春季遠足)

五月十六日に小学部の遠足を行いました。今年度、小学部は修学旅行を行わない年なので、低学年は「西ノ島町」へ、中学年は「海士町」へ、高学年は「隠岐の島町」へと知夫村を離れて他の島へ遠足を計画しました。

低学年の目的地は国賀浜でした。町内バスの乗り方も勉強しながら、国賀海岸の雄大な自然を満喫しました。

中学年は、隠岐神社まで歩き、金光寺までは町内バスを利用しました。金光寺に着いても走り回る元気よい姿が見られました。

高学年は、隠岐の島町の三大杉を巡るツアーに古墳見学も盛り込み、隠岐ジオパーク推進協議会の方にもガイドをしていただきながらしつかり勉強ができました。

これからも隠岐を知るふさと学習として、小学部の六年間で隠岐の全ての島を巡ることができるよう計画していきたいと思えます。

〔小学部遠足担当 脇田〕

〔児童感想〕

小学部二年

きのうは、いっぱいあるきました。千ぼあるきました。くにかいがんに行つたとき、ちよつとおくに行つたら、チーターみたいな生ぶつがいました。すごくはやかかったです。

小学部二年

十六日は、くにかいがんまでがんばつてあるきました。べんとうをたべたりおやつをたべたりしました。たのしかったです。ごはんがかわつたら、いわのぼりやおにごっこをしました。くらげも見つけました。どうくつみたい大きなあなも見つけてたのしかったです。

【学校教育目標】
 未来を切り拓く
 心豊かでたくましい
 知夫の子どもを
 育成する

【めざす子ども像】
 ・自ら学ぶ子ども
 ・共に生きる子ども
 ・たくましく
 生きる子ども
 ・ふるさとを
 愛する子ども

小学部三年

今日は、あまへ行ききました。わたしたち三・四年生は、おきじんじやと金光寺へ行ききました。私が一番楽しかったばしょは、金光寺です。楽しい道があったり、楽しいきゆうけいばしょがあったりして、わたしはめちゃくちゃ楽しかったです。おきじんじやに行くときは、とてもつらかったです。でも、と中でカラスと人間のぞうがあったので、元気がもどりました。それから、つかれが出ておながすいていたときに、おかしがわたしをすくってくれました。水とうもわたしのことをすくってくれて、きょうはわたしはとっても楽しかったです。いつかまた、あまに行きたいです。

小学部六年

今回の遠足でぼくは、島後にある様々な歴史的事物を知ることができました。「乳房杉」や「かぶら杉」や「八百杉」などについての話を聞き、様々なことを知ることができました。ガイドさんの話から、知夫里島にも数々の歴史のものがあると知っておどろきました。

またぼくは、今回の遠足でぼくたちがどれだけよくしてもらっているかも知りました。ガイドの方やタクシートの運転手さん、隠岐ジオパークの方などが準備してくださったおかげで僕たちの遠足があったと思ひ、感謝の気持ちになりました。

ガイドの方は、とても親切にしてくださいました。クイズのようにみんなに問いかけをしながら、説明したり実際にふれたりする活動を入れて、分かりやすく教えてくださいました。タクシートの運転手の方もとてもよくしてくださいました。遠いところまでわざわざ送ってくれたり、友達の場合が悪くなったときに車を止めてくれたりし、とてもやさしくしてくださいました。

遠足で学んだことは、とても大事なことだと思います。僕たちの学習には、様々な人が関わり協力してくれていることを頭に入れ、これからの学習も全力でがんばりたいと思います。

チームで戦い抜いた (中学部 隠岐郡総体)

六月八日から二日間、隠岐郡総体が開催されました。中学三年生にとっては二年間の部活動の集大成となる大きな大会。

部員一同、心を一つにして大会に臨みました。

当日は天候にも恵まれ、熱い応援とともに、熱気あふれる会場での試合が続きました。試合は女子個人優勝、男子団体二位、女子団体三位という結果で終わることができました。一人ひとりが技術面はもろろんですが、最後まで諦めない「気持ち」の大切さを学び、精神面で大きく成長することができた大会でした。

〔女子ソフトテニス部顧問 佐々木〕

〔児童感想〕

男子キャプテン

今回の郡総体は、うれしき半面悔しき半面の大会でした。個人戦では相手も三年生で、気合が入っていました。相手も声を出して、ミスした時にその声の圧に負けてしまいました。団体戦では、みんなが声を出してがんばったので気合いも入り、二位になることができました。県大会に行くことができたので、あと一か月後、隠岐の代表として恥ずかしくないようにがんばっていききたいです。そして、後輩たちにも伝統を引き継いでいきたいです。

女子キャプテン

六月八日・九日に、郡総体がありました。三年生にとっては、最後の郡総体でした。女子は、個人戦で優勝することができました。団体戦は、三位という結果でした。三年生は、県総体まで部活ができることになりました。目標としていた、「個人戦・団体戦でのW優勝」は果たすことができませんでしたが、三年生は悔いの残らない大会になったと思ひました。県総体までに課題を修正して、大会に臨みたいですね。

〔大会結果〕

女子個人戦	一位	知夫中学校
男子団体戦	二位	知夫中学校
女子団体戦	三位	知夫中学校

※六月十六日に浜山公園陸上競技場で開催された「第33回島根県学童通信陸上競技大会」に、中学部一年生奥本菜瑠海さんが出場しました(種目一五〇〇M)。ソフトテニス部員と同じく、目標に向かって頑張る菜瑠海さんを皆で応援しています。



みんなで大切に育てます
人権の花運動②

五月にいただいた人権の花の種。六月四日、小学部で「人権の花」の種を植えました。この種植えには、人権擁護委員の石橋さん、矢田さんにも参加していただき、子どもと一緒にプランターに種を植えました。花のことに詳しい矢田さんからは、種の植え方や育て方を詳しく話していただきました。

またこの日は、四月より学校内に場所を移した教育委員会から職員の方々も参加していただきました。種を植えた後に職員から、「たくさんの方々が学校や図書館にやってきました。みなで協力してきれいな花を咲かせてください。」という言葉もかけていただきました。たぐさんの方に見守られ、子ども達は「きれいな花を咲かせよう」という気持ちを持つことができました。かと思いません。

その後、芽は二週間もすると出てきて、子どもたちの中には「芽が出てきたよ！」と目を輝かせている子がいました。子どもたちが種を植えたプランターは、昇降口に置いてあります。学校・図書館に来られた際には、ぜひ見てください。

（人権・同和教育主任 曾田）



複式教育（小学部） ※基礎知識編
複式学級で子どもに力をつける

知夫小中学校小学部は、複式学級を有する学校です。（小学部1年生から6年生までの学級の全てが複式学級となっている『完全複式』の学校となっています。）知夫小中学校は、複式学級であることを本校の「強み」と捉え、子どもを成長させていきたいと考えています。それでは、複式学級でどのような子どもを育てていきたいと考えているのか…。そのことについては、次回でお伝えすることとし、今回は、複式学級の基礎知識編として「複式教育とはどのようなものなのか」についてお伝えします。

〔複式学級は、どんな学級か？〕

児童又は生徒数が著しく少ない場合、数学年の児童又は生徒を1学級に編成することができます。このような学級を「複式学級」と言います。1学級の児童又は生徒の数の基準は、標準法で示す数を標準として、都道府県の教育委員会が定めることとされ、島根県教育委員会では、独自に以下のようにしています。

中学校 … 国は、2つの学年を合わせて生徒の数が8人以下であった場合、「複式学級にすることができる」と定めています。しかし、島根県は、「2つの学年を合わせて8人以下であってもすべて【単式学級】として編成する」としています。

小学校 … 国は、2つの学年を合わせて児童の数が16人以下（1年生を含む場合は8人以下）であった場合、「複式学級にすることができる」と定めています。あわせて島根県は、「すべての複式学級を、1・2年、3・4年、5・6年の組み合わせで編成する」としています。

〔複式学級ではどのように授業をしているのか？〕

複式学級では2つの学年の子どもたちが一緒に過ごしています。異学年の子どもたちが、どのようにして授業を受けているのか気になる方は多いのではないかと思います。

複式学級では、異学年で一緒に学習できるように、二つの学年の内容をA年度（第1年次）・B年度（第2年次）の2年間に平均的に分配して指導を行う「A・B年度方式」という指導方法があります。一方で、教科の系統性からA・B年度方式が難しい算数は、【学年別指導】を行ってきました。教員が二つの学年を直接指導したり間接指導（子ども達に任せる・見守る指導）したりすることで、両学年間を【わたり】ながら指導をします。



2つの学年が違う黒板を向いて授業を受けている（【わたり】の授業風景）

知夫小中学校では、国語と算数で【学年別指導】を取り入れ、教師一人で二つの学年を【わたり】ながら授業をしています。理科・社会については中学校の先生に加わってもらい、複式学級を単学年に分けて授業をしています。生活・音楽・図工・体育・家庭・外国語・学活・道徳については、【A・B年度方式】での授業をしています。

まずは安全確認！
交通安全教室

五月十七日、浦郷警察署と浦郷警察署出張所から二名の職員にお越しいただき、交通安全教室を実施しました。小学部以外に、二年生は歩道の歩行の仕方を中心に、そのほかの児童生徒は、歩行の仕方と自転車の乗り方について指導を受けました。教室後に、講師として参加していただき、浦郷警察署知夫出張所の経緯さんから、交通安全教室をやったの気持ちと、村で過ごす普段の子ども達の様子から「今後、小中学生が交通安全について意識するとよいこと」を伺いました。

○自転車の乗ることができていますが、走行の技術を見るとき不安が多い。とにかく「安全確認」してほしいです。
○「車が来るかもしれない」という予測のもと、自転車の運転や歩行ができています。だから、知夫村は、車の少ないところ。だから、歩いて気を抜かず、見通しの悪いところ、車や歩行者が飛び出してきそうなところでは、一歩が来るかもしれないという予測をしながら走行（歩行）してほしいです。
○登下校の際は、歩くことに集中できています。登下校の際の歩き方について、気になることがあります。特に、右側を歩行せず道路の真ん中近くを歩いたり、二列・三列になったりして歩いているところを見かけるときです。歩道がない通学路がほとんどです。車に注意しながら右側を歩くことに集中しましょう。本を読みながらの歩行も心配です。それについて、気をつけてほしいです。

〔六月の子ども達〕※詳しい様子は次号でお届けします

バスケット大会④



修学旅行⑤

